国
国土と産業

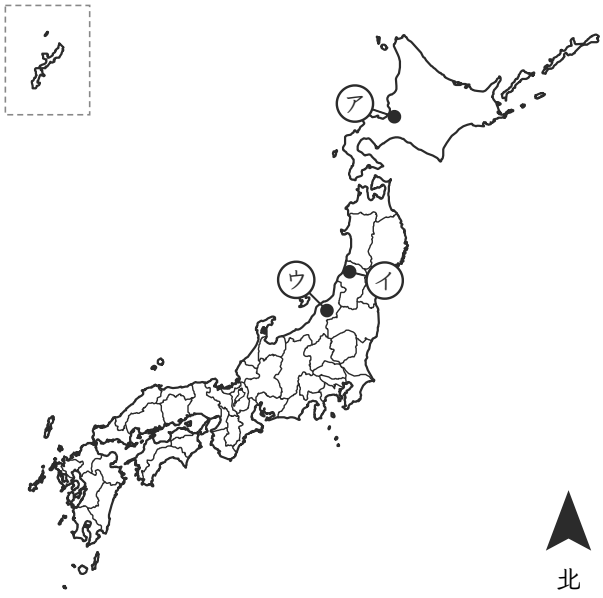
しょうがく5ねんせい ・ しゃかい ・ sh5-06

米づくりのさかんな地いき

ふつう ★★☆ ・ 米づくりの仕事とくふう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち



1 米づくりのさかんな平野ア～ウの名前を書こう。

1 ア ［　　］

2 イ ［　　］

3 ウ ［　　］

ことば 石狩平野（いしかりへいや） ・ 庄内平野（しょうない） ・ 越後平野（えちご）

2 米づくりの仕事を、行う順にならべよう。

㋐ 稲（いね）かり　㋑ しろかき　㋒ 田おこし　㋓ 田植え

［　　］→［　　］→［　　］→［　　］

3 米づくりに向いている条件を2つえらんで○をつけよう。

○ 1年中雪が多い　○ 夏の気温が高く、日照時間が長い

○ 雨がほとんどふらない　○ 広い平野とゆたかな水がある



ヒント

地図では、大きな川の下流に広がる平野をさがそう。

条件は、1つずつ田んぼにあてはめてくらべよう。

できたら はなまる

つぎまる プリント

国土と産業 ・ つぎは 「水産業のさかんな地いき」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

国
国土と産業

しょうがく5ねんせい ・ しゃかい ・ sh5-07

水産業のさかんな地いき

ふつう ★★☆ ・ 漁業の種類

とる漁業と
育てる漁業



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 漁業の種類と、その説明を線でむすぼう。

沿岸（えんがん）漁業 ●	● いけすなどで、大きくなるまで育ててとる
沖合漁業 ●	● 遠くの海で、長い期間かけてとる
遠洋漁業 ●	● たまごからかえした稚魚（ちぎょ）を海に放し、大きくなってからとる
養殖（ようしょく）業 ●	● 日本の近くの海で、数日かけてとる
さいばい漁業 ●	● 海岸の近くで、日帰りでとる

2 正しいものに○、まちがっているものに×を書こう。

1 □ 養殖（ようしょく）業とさいばい漁業は、「育てる漁業」とよばれる。

2 □ ほかの国が200海里の水いきを決めてから、遠洋漁業の漁かく量は大きく増えた。

3 日本の東の海を、北から流れてくる寒流はどれかな。

○ 黒潮（くろしお）（日本海流）　○ 親潮（おやしお）（千島海流）



ヒント

どのくらい遠くの海で、何日かけてとるかを見よう。
「育てる」のは、どこまで人が育てるかでちがいます。

できたら
はなまる

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

国
国土と産業

しょうがく5ねんせい ・ しゃかい ・ sh5-08

これからの食料生産

むずかしい ★★★ ・ 食料自給率と輸入



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1 ことばをえらんで書こう。

国内で消費される食料のうち、国内で生産された量のわりあいを

① ＿＿＿＿ という。

ことば　食料自給率 ・ 人口密度（じんこうみつど） ・ 消費税

2 正しいものに○、まちがっているものに×を書こう。

1 ☐ 日本は、多くの食料を外国からの輸入にたよっている。

2 ☐ 日本の自給率は、米より小麦や大豆の方が高い。

3 ☐ 輸入がとだえると、食料が足りなくなるおそれがある。

3 ことばと、その説明を線でむすぼう。

地産地消 ●	● 外国から品物を買い入れること
トレーサビリティ ●	● 地元でとれたものを地元で食べること
輸入 ●	● 食品の生産や流通の記録をたどれるしくみ



ヒント

ことばの字を手がかりにしよう。

「自給」は、自分の国でまかなうという意味です。

できたら はなまる

つぎまる プリント

国土と産業 ・ つぎは 「工業の種類」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）